

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成30年5月24日 (2018.5.24)

【公開番号】特開2016-200181(P2016-200181A)

【公開日】平成28年12月1日 (2016.12.1)

【年通号数】公開・登録公報2016-066

【出願番号】特願2015-79456(P2015-79456)

【国際特許分類】

F 1 6 C 35/07 (2006.01)

F 1 6 C 19/26 (2006.01)

F 1 6 C 33/46 (2006.01)

【F I】

F 1 6 C 35/07

F 1 6 C 19/26

F 1 6 C 33/46

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月6日 (2018.4.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一対の円環部及び前記一対の円環部間を連結して円周方向に所定の間隔で配置される複数の柱部を有する保持器と、

前記一対の円環部及び互いに隣り合う前記柱部によって形成される前記保持器のポケットにそれぞれ配置される複数のころと、を備え、内径面に円筒状の軌道面を有するハウジングと、前記ハウジングに挿通されて外径面に軌道面を有する軸との間に、前記ころが転動可能に配置されて使用されるケーシングアンドローラに於いて、

前記一対の円環部の内、一方の円環部の外径面に円周溝を設け、この円周溝にスナップリングが嵌められており、前記スナップリングの外径は前記ハウジングの軌道面よりも大きいことを特徴とするケーシングアンドローラ。

【請求項 2】

一対の円環部及び前記一対の円環部間を連結して円周方向に所定の間隔で配置される複数の柱部を有する保持器と、

前記一対の円環部及び互いに隣り合う前記柱部によって形成される前記保持器のポケットにそれぞれ配置される複数のころと、を備え、内径面に円筒状の軌道面を有するハウジングと、前記ハウジングに挿通されて外径面に軌道面を有する軸との間に、前記ころが転動可能に配置されて使用されるケーシングアンドローラに於いて、

前記一対の円環部の内、一方の円環部の内径面に円周溝を設け、この円周溝にスナップリングが嵌められており、前記スナップリングの内径は前記ハウジングの軌道面よりも小さいことを特徴とするケーシングアンドローラ。

【請求項 3】

前記スナップリングの内径面と、前記円周溝の溝底外径との間は、前記スナップリングの外径面が縮径可能なように隙間を有していることを特徴とする請求項 1 に記載のケーシングアンドローラ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の上記目的は、下記の構成により達成される。

(1) 一对の円環部及び前記一对の円環部間を連結して円周方向に所定の間隔で配置される複数の柱部を有する保持器と、

前記一对の円環部及び互いに隣り合う前記柱部によって形成される前記保持器のポケットにそれぞれ配置される複数のころと、を備え、内径面に円筒状の軌道面を有するハウジングと、前記ハウジングに挿通されて外径面に軌道面を有する軸との間に、前記ころが転動可能に配置されて使用されるケージアンドローラに於いて、

前記一对の円環部の内、一方の円環部の外径面に円周溝を設け、この円周溝にスナップリングが嵌められており、前記スナップリングの外径は前記ハウジングの軌道面よりも大きいことを特徴とするケージアンドローラ。

(2) 一对の円環部及び前記一对の円環部間を連結して円周方向に所定の間隔で配置される複数の柱部を有する保持器と、

前記一对の円環部及び互いに隣り合う前記柱部によって形成される前記保持器のポケットにそれぞれ配置される複数のころと、を備え、内径面に円筒状の軌道面を有するハウジングと、前記ハウジングに挿通されて外径面に軌道面を有する軸との間に、前記ころが転動可能に配置されて使用されるケージアンドローラに於いて、

前記一对の円環部の内、一方の円環部の内径面に円周溝を設け、この円周溝にスナップリングが嵌められており、前記スナップリングの内径は前記ハウジングの軌道面よりも小さいことを特徴とするケージアンドローラ。

(3) 前記スナップリングの内径面と、前記円周溝の溝底外径との間は、前記スナップリングの外径面が縮径可能なように隙間を有していることを特徴とする上記(1)に記載のケージアンドローラ。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

以下、本発明に係るケージアンドローラの実施形態について、図面に基づいて詳細に説明する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、ケージアンドローラ1の一方の円環部3は、その外径面に円周溝7を有しており、この円周溝7には、スナップリング8が嵌められている。